

京都府内の死亡鳥で鳥インフルエンザ陽性事例が確認されました

日本国内様々な地域で死亡野鳥や動物園飼育鳥等から高病原性鳥インフルエンザウイルスが継続して検出される中、京都府内で今シーズン初めて陽性事例を確認しました。



◆家きん飼養農場でも青森県内で2農場、新潟県内で2農場、北海道内で1農場、宮崎県内で1農場の高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。

◆現在、国内全ての家きん飼養農場で発生リスクが非常に高い状況にあります。引き続き関連情報の把握と発生予防対策の徹底をお願いします。